

傾聴を重 社会福祉法 フェイストゥフェイスでのコミュニニ岩波公認会計士事務所の岩波所長は、 特化 軽 ショフ 重視. た会計事務所 る。 その根幹に

女優の宮地真

-信頼関係 を構築する

Guest Comment>>

宮地 真緒(女優)

私が疑問に思っていた領収書のことについて、分か りやすく説明してくださった岩波所長。これまで、 会計士さんに領収書を仕分けせずに持っていっては いけないと思っていたのですが、「全てを任せてほ しい」という所長の言葉に頼もしさを感じました。 お金に関わるあらゆることのプロフェッショナルと して、この先も多くの人を支えてください。





目の前の1人に最善を尽くす

宮地 岩波所長は勤務時代、数多くのク ライアントを担当されていたそうです ね。安定した立場を離れて独立に踏み切 られた経緯を教えてください。

岩波 私は前職で80件のクライアント を抱え、期限に追われながら業務をこ なす日々を送っていました。しかし、 お客様にとって頼れる人間は私しかい ないのに、私自身は忙しさのあまりそ のお客様を「80分の1」としてしか対 応して差し上げられない状況に、だん だんと違和感を覚えるようになったん です。私のことを頼ってくださる目の 前の1人に最善を尽くす。それが私が 追求すべきサービスであると考え、独 立開業に至りました。

宮地 なるほど。それで現在は、一つひ とつの案件と丁寧に向き合うスタイルを 貫いていらっしゃると。

岩波 ええ。開業間もない人間は、得て して売り上げを伸ばそうとがむしゃらに 仕事を取ろうとするものですが、それで キャパシティオーバーになってサービス の質が落ちてしまっては本末転倒。質を 極めていけば、量は後からついてくると いうのが私の考えです。

宮地 具体的には、どのような案件を 扱っていらっしゃるのですか?

岩波 日常的な税務・会計相談や申告書 作成業務、資金調達、会社経営、事業継 承など、様々なご相談に幅広く対応しつ つ、専門とする社会福祉法人に関する業

務に注力しています。私は資格試験に合 格した時から「ゼネラリストであるスペ シャリスト」を志し、それが広い知識と 経験を有しながら自分の専門分野を確立 するという、現在の指針の基盤になって いるんです。

全てを任せてもらえる信頼関係を

宮地 社会福祉法人を専門にされている 会計士がいらっしゃるということを初め て知りました。

岩波 ほとんどの会計士は株式会社の監 査を主業務にしているので、この分野の 専門家というのは少ないですね。企業と 違い、非営利の社会福祉法人は会計処理 も特殊なのですが、医院にしても福祉施 設にしても、経営者は多忙の中で細かい 数字まで見る余裕がありません。そこを 支えられる存在として、私のような専門 家が必要になるのです。

宮地 私も確定申告の時は領収書の整理 で苦労しています。きちんと仕分けをし てから会計士の方に提出しないといけな いのかな、と気後れしてしまって・・・。 岩波 私は、お客様には「領収書は全て 袋に入れてそのまま提出してください とお伝えしています。ご自身で1枚1枚 を確認するのは大変でしょうし、どこま でが経費に含まれて、どこまでがプライ ベートなのかという範囲も完全には分か らないでしょう。例えば100枚の領収書 のうち、ご自身で仕分けて80枚しか提 出しなければ、それ以上になることはあ

りません。しかし、100枚全て提出して 頂ければ、そのうちの90枚が経費に含 まれるかも知れません。ですから、基本 的には全てお任せ頂ければと思います。 宮地 プライベートなものも含めて全て

そうですね。 岩波 おっしゃる通りです。お客様に安 心して仕事を任せて頂けるように、守秘 義務を遵守することはもちろん、業務に あたる時も可能な限り対面の場を設ける ように心がけています。お客様がどんな 問題でどれだけお困りなのか、今がどう いう状況なのかということは、メールや FAX では到底伝わりません。逆に、フェ

の領収書をお見せするというのは、クラ

イアントとしても勇気のいることでしょ

うから、お互いの信頼関係が大切になり

宮地 所長のように寄り添う姿勢を大切

イストゥフェイスでお話しすればすぐに

解決できるような問題もあるので、まず

はどんなことでも、直接お会いしてご相

談して頂きたいですね。

にしてくださる方になら、「とりあえず 話してみよう」と思えそうです。

岩波 私は、この仕事を「サービス業」 と捉えているんです。だからこそ、数字 を扱う業務であっても機械的に処理して はいけないし、全てはまずお客様のお話 に耳を傾ける"傾聴"から始まると考え ています。その姿勢を貫いた結果、お客 様から「ありがとう」と声をかけて頂け るなら、こんなにやりがいを感じること はないですね。

宮地 お話しする中で岩波所長の誠実さ が伝わってきましたし、きっとこの先多 くのクライアントから頼りにされると思 います。今後についてはいかがですか? 岩波 社会福祉法人という制度そのもの が今、変革期に差し掛かっているので、 専門家としてしっかり対応していくこと が当面の目標ですね。開業以降、順調に お客様も増えていますが、これからもそ の一人ひとりと真摯に向き合い、成長を サポートし続けて参ります。



Company Data>>

岩波公認会計士事務所

〒 339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町 1-5-3 岩波榮一ビル 3F TEL 048-812-7877 / FAX 048-812-7872 URL http://mk-i-cpa.com/

企業情報サイト▶▶▶ http://www.companytank.jp/interview/201701/12796/ COMPANY TANK 071 070 COMPANY TANK